

大山環状道路パーク&観光シャトルバスライドによる観光資源としての道路の活用社会実験(鳥取県大山町、伯耆町、江府町)

1. 実験実施の背景

- ・紅葉シーズンに観光客による交通渋滞が発生し、来訪者が大山の魅力を満喫できない状況
- ・排気ガスによる大山の貴重な動植物への大きな負荷
- ・平成27年度の社会実験では、マイカー規制により、地元観光施設で集客・売上げが減少

2. 検証項目

- ① 渋滞の解消
- ② 環境負荷軽減効果
- ③ 利用者等の意識
- ④ 観光客等の動向
- ⑤ 観光振興の効果
- ⑥ 地域との協働・地域活性化

3. 今回の実験内容及び結果

【実験区間】 主要地方道倉吉江府溝口線(通称:大山環状道路)

【実験内容】

- 大山環状道路パーク&観光シャトルバスライドによる観光資源としての道路の活用社会実験

- ①大山環状道路において、マイカーを規制して観光シャトルバスを運行
- ②車のいない道路空間を観光資源として活用し、来訪者の満足度を向上
- ③地元の観光施設等とのタイアップ

【実施期間】 平成28年5月～平成29年2月



図-1 位置図



図-2 交通渋滞状況(奥大山スキー場)



図-3 交通渋滞状況(鍵掛峠)



図-4 実験前の状況

大山環状道路パーク&観光シャトルバスライドによる観光資源としての道路の活用社会実験(鳥取県大山町、伯耆町、江府町)

4. 検証結果

- ①渋滞の解消
 - ・基準時間(法定速度)±5分以内で収束(渋滞なし)
- ②環境負荷軽減効果
 - ・CO2排出量が約75%以上削減(交通量減少)
- ③利用者等の意識
 - ・観光客からの満足度は約65%(前年並み)
- ④観光客等の動向
 - ・各駐車場とも容量の25%以下(雨天による来訪者減)
- ⑤観光振興の効果
 - ・約52%が来客・売上が少なかったと回答(雨天影響)
- ⑥地域との協働・地域活性化
 - ・バーガーフェスタへ5店舗誘致、EV試乗会へ2社誘致
 - ・地元自治会による大山寺参道でのなめこ汁振る舞い



図-5 通過時間調査

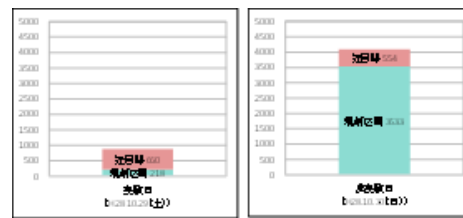


図-6 交通量調査 (7:00~18:00)

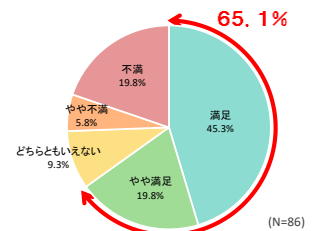


図-7 来訪者アンケート (N=86)

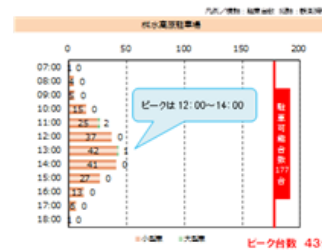


図-8 駐車場 (樹水高原)

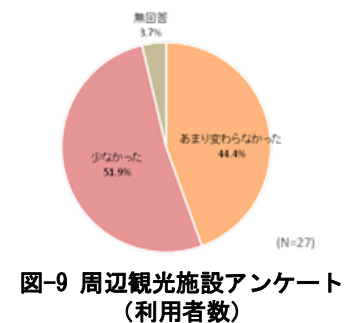


図-9 周辺観光施設アンケート (利用者数)

5. 実験後の展開、明らかになった課題等

- ①実施体制
 - ・総勢100名を超える大量動員にて運営
- ②採算性
 - ・実施主体である県と3町の経費負担が大
- ③広報
 - ・来訪者アンケートで「周知不足」という声
- ④観光振興
 - ・通行規制区間の起終点にあたる観光施設から評価しない意見が複数出た
- ⑤通行規制
 - ・毎年お金をかけるくらいなら、鍵掛峠の駐車場・歩道を整備してほしいとの声
- ⑥シャトルバス運行
 - ・バスの待ち時間が、天候によってはつらいとの声